

- ② 新たな教育大綱を策定
- ③ 医療・介護の人手不足を解消
- ④-⑤ 特集 厚木のいいところ集めました
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ



夢をつかめ

日本大学第三高等学校 井上 広輝さん



2001年生まれ。恩名ソフトボール、海老名南リトルシニア、日本大学第三高2年。最速145km/hの直球を主体に組み立てる本格派の右投手。

東海大学付属相模高等学校 野口 裕斗さん



2001年生まれ。恩名ソフトボール、愛甲リトルシニア、東海大学付属相模高2年。巧みな変化球を武器に緩急自在の投球で打者を手玉に取る左投手。



小学生時代の野口さん(左)と井上さん

3月23日から阪神甲子園球場(兵庫県)で開催されている「第90回記念選抜高等学校野球大会」に、市内出身の井上広輝さんと野口裕斗さんが出場しました。井上さんは日本大学第三高等学校、野口さんは東海大学付属相模高等学校の同じ2年生で、投手を務めています。2人は昨年、1年生でありながら本大会への出場を懸けた秋季大会で活躍。その実績を買われ、本大会のメンバーに選ばれました。

そんな2人は小学生時代、共に地元ソフトボールチーム「恩名ソフト」に所属していた幼なじみです。当時、キャッチャーだった野口さんが井上さんの球を受け、県大会などを制覇してきました。当時の2人を知るチーム代表の植松正さん(59・恩名)は「元々、素質がありながら、人一倍練習に励む姿が印象的だった。今のチームの子どもたちにとっても憧れの存在」とほほ笑みます。

「甲子園出場は小さい頃からの夢。どんな相手にも強い気持ちで立ち向かい、三振の山を築きたい」と静かに闘志を燃やす井上さん。「打者に的を絞らせない投球が自分の持ち味。日本一になれるようチームに貢献したい」と熱く語る野口さん。夢の舞台への思いを胸に、さらなる高みへと羽ばたこうとしている2人の、これからの活躍に期待が高まります。

Zoom Up

未来を担う子どもたちのために

新たな教育大綱を策定

教育大綱は、市が目指す教育のあるべき姿を定めたものです。基本理念「未来を担う人づくり」をはじめ、子どもたちの健やかな成長を支えるために必要な環境や、生きていく上で身に付けてほしい力などを規定。掲げる理念や目標の実現に向け、さまざまな取り組みを進めていきます。

新たな大綱は、2015年度に策定した大綱の終了に伴い定めたものです。市長と教育長、4人の教育委員をメンバーとする総合教育会議で、厚木市の教育の姿を議論してきました。20年度までの3年を期間とし、本年度からスタートします。

人のつながりを深める教育を

大綱では、基本理念と五つの基本目標、十の基本方針を定めています(左欄参照)。今回は、市が推進する市民協働によるまちづくりを未来につなげてい

くため、新たに「人と人とのつながりを深める教育の実現」を基本目標「つなぐ」の説明に追加しました。基本方針では、確かな学力や豊かな心の育成、教職員の能力向上などの学校教育だけではなく、子育て支援やスポーツ・文化芸術活動の振興、家庭教育支援、郷土の文化・歴史の継承など、さまざまな分野の方向性を定めています。

理念・目標を形あるものに

市では、理念や目標の実現に向け、さまざまな施策を展開します。保護者・地域住民と協働する学校づくり「コミュニティ・スクール」の全校展開やタブレット端末の全校導入などの教育環境の充実の他、安心して子育てができるよう子育て世帯の支援や保育環境の充実、郷土を知り愛着を育む新たな郷土資料館の建設などに取り組み、まちの宝である子どもたちを育んでいきます。

企画政策課 ☎225-2450



子どもたちの個性や特長を伸ばす教育を目指す

教育大綱の要旨

基本理念 未来を担う人づくり

基本目標 2つの「約束」3つの「力」

- つなぐ** 歴史、文化、自然、人財を未来へつなぎ、人と人とのつながりを深める教育の実現
- 伸ばす** 子どもを伸び伸びと育てられる社会、個性や特長を伸ばす教育の実現
- 拓く力** 未来を切り拓くたくましい力の育成
- 感じる力** 自他を大切に、互いを認める豊かな心の育成
- 築く力** 共に支えあい、よりよい社会を築く力の育成

基本方針 基本理念を実現する10の方針

- 1 子育て支援と子育てに誇りと喜びが深められる環境の整備
- 2 生涯学習に取り組むことができる環境づくり
- 3 「確かな学力」を身に付ける教育
- 4 豊かな心と健やかな体を育む教育
- 5 教職員の能力と組織力の向上による家庭・地域社会に信頼される学校づくり
- 6 安心・安全で課題などに対応した教育環境の整備
- 7 家庭教育の支援と地域全体で子どもを育てる地域社会の教育力の向上
- 8 スポーツや文化・芸術活動の振興と活力ある地域づくり
- 9 人権尊重の精神を基盤とした人権教育の充実
- 10 自然や郷土に伝わる歴史や文化の大切さを学び、未来へつなぐ人の育成

大綱の全文は市ホームページに掲載

中心市街地がもっと便利に

大型バスの発着場が完成

保健福祉センターの北側に、企業・大学の送迎バスやツアー観光バスが利用できる大型バス発着場ができました。本厚木駅から徒歩5分、通勤や通学などが便利になります。



大型バスが最大9台停車可能

市街地整備課 ☎225-2470

利用事業者を募集

従業員や学生などの送迎バスの発着場として利用しませんか。

利用時間

6時～22時(乗車時間15分程度)

月額料金

- ①大型・中型バス=5万4000円
- ②マイクロバス=3万2400円

申し込みや利用方法は市観光協会へお問い合わせください。

詳しくは **あつぎ観光ナビ** [検索](#)

市観光協会 ☎240-1220



広い空間で安全に乗降が可能



皆さんの声をお寄せください

市民参加手続実施予定一覧

市民参加によるまちづくりを進めるため、条例や規則、重要な政策などを制定・改廃する際に、市民の皆さんから意見をお聞きしています。

本年度は次のとおりで、個別の内容や意見の募集期間、対象行為の追加などについては、今後の広報あつぎや市ホームページでお知らせします。

審議会 意見交換会 意向調査 ワークショップ パブリックコメント

対象行為	市民参加の内容・期日
中小企業の設備投資に係る固定資産税の特例措置に関する市税条例の一部改正	意 4月 調 4月 8 4月～
(仮称)厚木市立郷土博物館整備に伴う条例等の制定	審 4月～ 8 4月
都市公園条例の一部改正	審 4月～ 調 6月 8 9月
固定資産税のわがまち特例に関する市税条例の一部改正	調 7月 意 8月 8 9月
ふれあいプラザ再整備計画の策定	8 9月
(仮称)自殺対策計画の策定	審 未定 意 8月 8 11月
地域防災計画の改定	7 5月～ 意 6月～ 8 11月
あつぎ子ども未来プラン(第3期)の策定	審 10月～ 調 12月 8 2019年11月
(仮称)新庁舎整備に向けた基本的な考え方の策定	審 4月～ 意 未定 7 5月～ 8 未定
中町第2-2地区複合施設整備基本計画の策定	審 4月～ 8 未定

市民協働推進課 ☎225-2141

あつき 元気Wave

ケーブルTV 4/1~

助成制度を紹介



看護師などを確保し充実したサービスを提供

Zoom Up

新たな三つの助成で人材確保

医療・介護の人手不足を解消

近年の高齢化で医療や福祉サービスの需要が高まる中、看護師や介護士、歯科衛生士などの存在は欠かせません。市ではこうした人材の確保に向け、新たな助成制度を導入。充実したサービスの提供につなげていきます。

2025年には、5人に1人が75歳以上になるといわれています。その結果、医療や介護の需要は一段と高まり、そこで働く看護師や介護福祉士といった専門職の人手不足が懸念されています。市では充実した医療・福祉サービスを提供するため、独自の人材確保策として看護職や介護職などへの助成を新たに開始します。

三つの助成がスタート

働きやすい環境をつくり、市内に就職してもらおうと、市は、市内で働く看護職員・介護職員・歯科衛生士・管理栄養士などを対象に県内初となる三つの助成制度を新設しました(左欄参照)。一つ目は「奨学金返済助成金制度」で、資格取得のために奨学金を借りた方の返済を支援します。二つ目の「転入奨励助成金制度」では、市内で就職・勤務する方が市内に転入する費用を支援し、人材の確保に加えて、定住促進にもつなげていきます。さらに、三つ目の「復職等奨励助成金制度」において子育てや介護などで仕事から離れていた方の復職を促し、経験豊富な人材の再

人材確保の三つの助成 県内初

1 奨学金返済助成金

《対象》①市内在住で、市内の医療機関や介護・障害福祉サービス事業所などに勤務②奨学金を利用して看護職・歯科衛生士・介護福祉士などの資格を取得し返済中③採用後3年以内—の全てを満たす方

《助成》年間上限20万円(最長3年)

2 転入奨励助成金

《対象》①市内の医療機関や介護・障害福祉サービス事業所などに就職または勤務する看護職員・歯科衛生士・介護職員など②市外から市内に転入—の全てを満たす方

《助成》20万円(一律15万円+転入経費上限5万円)

3 復職等奨励助成金

《対象》①市内の医療機関や介護・障害福祉サービス事業所などに復職などする看護職員・歯科衛生士・介護職員など②市内在住—の全てを満たす方

《助成》20万円

申し込み方法など詳しくはお問い合わせください。

☎看護職・歯科衛生士・管理栄養士は健康長寿推進課☎225-2174、介護職は介護福祉課☎225-2240



地域包括ケア社会の実現へ

就職を支援します。過去に奨学金の返済をしていた看護師の木戸口みなみさん(24)は「毎月の返済は働き始めたばかりの自分にとって負担が大きかった。助成が充実すれば、厚木で働きたいという方が増えると思う」と期待を寄せます。

急速な高齢化に対応するため、市では、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる「地域包括ケア社会」の実現を目指しています。実現に向け、在宅医療・介護の整備や元気に生活できる期間を延ばす健康寿命の延伸、自治会を中心とした地域のつながりづくりなどに取り組んでいます。

さらに、昨年全面オープンした市立病院や高齢者を支援する地域包括支援センターなど、ハード面の整備も着実に推進。避けられない急速な高齢化に対応した仕組みを整えていきます。

☎健康長寿推進課☎225-2174(看護職・歯科衛生士・管理栄養士)・介護福祉課☎225-2240(介護職)

保育士の人材確保制度も拡充

復職等奨励助成金をスタート

すでに実施している奨学金返済助成と転入奨励助成に加え、4月から新たに復職する方への助成をスタートします。

《対象》①市内の私立保育所に常勤として復職する保育士②市内在住③保育士として働いていない期間が1年以上—の全てを満たす方

《助成》10万円

申し込み方法など詳しくは

厚木市 保育士助成制度

検索

☎保育課☎225-2768



市立病院人事

市立病院の事業管理者に長谷川氏が就任

前市立病院事業管理者の山本裕康氏(58)の退任に伴い、4月1日付けで長谷川節氏(57)が管理者に就任しました。

長谷川氏は2014年に東京慈恵会医科大学附属病院から市立病院・神経内科の診療部長として着任し、17年から副院長を兼任してきました。日本内科学会、日本神経学会ほか7学会に所属するほか、日本神経治療学会評議員を務めています。



長谷川 節氏

☎病院総務課☎221-1570

広報写真コンクール

受賞作品決定

市内外から227点(内Instagram部門が69点)の作品が集まりました。入選作品は地下道のロードギャラリーや市ホームページ、広報課のInstagramなどでご覧いただけます。

☎広報課☎225-2040

市長賞



「力を合わせて」
土井 文明さん(森の里)

神奈川新聞社賞



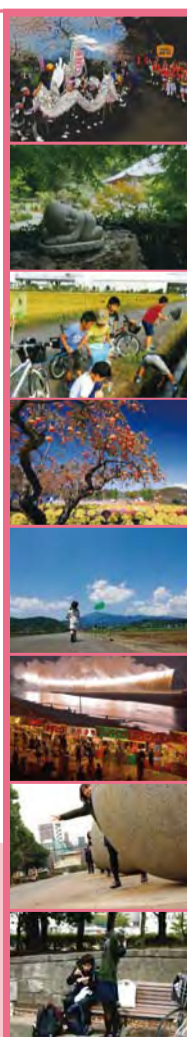
「尼の泣き坂より」
森田 涼音さん(相模原市)

Instagram部門
「いいね」最多獲得賞



「真っ赤な紅葉」
白川 輝さん(飯山)

入選=成瀬定さん(林)、熊谷昂さん(愛名)、成瀬豊さん(金田)、久田秋義さん(海老名市)、小菅聡子さん(毛利台)、町野正樹さん(相模原市) 審査員奨励賞=平野史歌さん(長谷)、和久田純平さん(森の里) Instagram部門入選=石井一敏さん(松枝)、向田里美さん(みはる野)、石川利明さん(鳶尾)



あつぎの魅力

聞いてみました。



地域の絆が強いまち

厚木の人は、地元を愛する気持ちがとても強いと思います。地区のイベントやお祭りにはいつも多くの人が参加します。自分たちの地域は自分たちで良くしていくとする風土が、厚木の地にしっかりと根付いている表れですね。

市自治会連絡協議会会長 神保 忠男さん

充実した子育て支援が魅力

引っ越してきて驚いたのが、子育てへの支援がとても充実していたことです。手厚い補助制度はもちろん、親子で交流・相談できる施設や、公園もたくさんあり、子育てしやすいまちだなと感じました。厚木の子育て環境の良さは市外の友人にも自慢です。



名古屋から市内に引っ越してきて2年 西野 有香さん

ボランティア活動が活発



東京農業大学2年 小林 和博さん

大学ではボランティア部に所属していて、市内外で開催するイベントなどをお手伝いしています。中でも強く感じるのが、厚木は市民ボランティアの参加が多いこと。皆でまちを盛り上げようとする精神は素晴らしいと思います。

いろんなイベントが楽しめる

生まれた時から厚木に住んでいます。厚木には四季折々のイベントがたくさんあって、にぎわいがあるところが大好きです。特に鮎まつりの大花火大会は有名で、市外の友達も「厚木っていえば鮎まつり」で覚えてられているほどです。



市外の学校に通う高校2年生 上家 瑞稀さん

最先端の技術が身近にある



市内で働くプログラマー ラク・キョクホウさん

1年前に中国から来日しました。厚木の魅力は、世界でも有名な企業があり最先端の技術を学べる点です。ロボット開発も盛んに行われていて、世界各国から集まった有能なプログラマーと交流できるのも良いですね。

ゆとりのある生活が楽しめる

家賃や食費など生活にかかる費用が、都内と比べて安いのが何よりも魅力です。1Kの家賃で比べると、都内では8万円ほどかかるのに対し、厚木なら5万円少々。3万円もお得なんです。生活にゆとりが生まれますね。



厚木から都内へ通勤 堀口 春奈さん

目の前に広がる満天の星空 / プラネタリウム観覧者数

観覧者数年間約3万人

全国第2位
(2015年度99席以下の小規模館171施設中)

神奈川県立厚木市子ども科学館にあるコスモシアターが大人気。約500万個を映し出す投影機「メガスターII」は、全国で本市が初めて導入したもの。今では、プラネタリウムの基準になっています。

環境にやさしいエコなまち / 電気自動車用充電スポット数

(政令市を除く)
(合同会社日本充電サービス調査)

県内第1位
市内に37カ所

政令市を除く平均設置数は11.5カ所。新たに充電設備を設置する市内企業には補助金を交付しています。

地域の力を学校へ / コミュニティ・スクール

県内19市初全校導入

学校・保護者・地域住民が協力して学校づくりに取り組み、地域一体となって子どもたちを育て「コミュニティ・スクール」。全国的な広がりを見せる中、全小・中学校に導入するのは県内19市中本市が初となります。



6月に全36校に導入完了

県内第1位 特許の取得件数

順位	市	取得件数
1位	厚木市	16385件
2位	茅ヶ崎市	6169件
3位	横須賀市	3411件
4位	藤沢市	3285件
5位	鎌倉市	2298件
6位	伊勢原市	2094件

2016年の特許取得件数は16385件で2位の茅ヶ崎市は6169件。企業の研究開発が活発に行われています。

市民協働の取り組みが高評価 / 経営革新度

全国812市区で第1位

自治体運営の透明度、効率化、活性化、市民参加度、利便性の四つの要素を数値化し、行政の経営革新度合いを調査した結果、**全国第1位**に輝きました。

順位	市
1位	厚木市
2位	三鷹市
3位	新宿区
4位	板橋区
5位	足立区

(2014年日経グローバル)

市民サービスの充実につながる / 財政力

自治体の健全な財政状態を示す財政力指数が2016年度決算で1.23となり、**県内19市中1位に、全国791市区中13位になりました。**

財政力指数 1.23

市	財政力指数
厚木市	1.232
鎌倉市	1.087
藤沢市	1.052
海老名市	1.015
川崎市	1.006

県内平均値 0.64

人口15万人以上の類似都市では**全国第2位(1位は浦安市)**。

※税などの収入÷行政サービスにかかる費用(単年)



県内19市中第1位 昼夜間人口比率

「厚木のいいところ」は、いかがでしたか。ランキングなどで見ると、良さがあるけどもどか解らないだけなのではないでしょうか。厚木には他にも、数値や順位では測れない良さがたくさんあります。市ではこれからも、市民の皆さんと共に「住みたい」「働きたい」「訪れたい」と、多くの方々に取っていただける魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

厚木市 昼夜間人口比率 115%

通勤・通学で人が集まるまち / 昼夜間人口比率

順位	市	比率
1位	厚木市	115%
2位	平塚市	99%
3位	小田原市	98%
4位	鎌倉市	97%
5位	綾瀬市	96%

夜間の人口を100%とした場合の昼間の人口比率です。本市は約115%。県内19市で100%を超えるのは本市だけ。

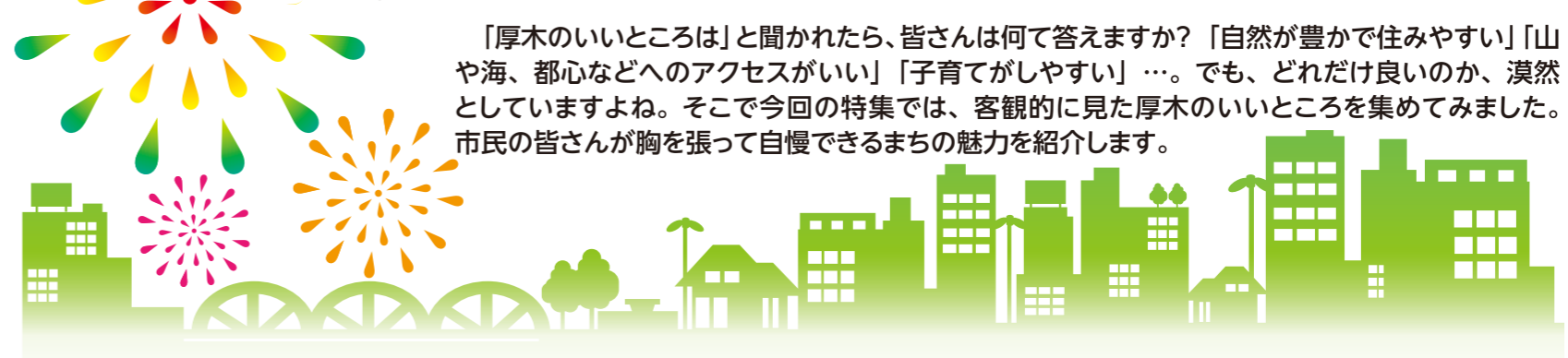
県内第2位 従業者数

従業者とは、事業所などに所属して働いている全ての人を指します。本市は、藤沢市の約16万1千人に次いで第2位。

順位	市	従業者数
1位	藤沢市	(16万1210人)
2位	厚木市	(15万0518人)
3位	横須賀市	(12万1544人)
4位	平塚市	(10万3644人)
5位	小田原市	(8万2491人)

厚木のいいところ集めました

～住みたい 働きたい 訪れたいと思えるまち～



「厚木のいいところ」と聞かれたら、皆さんは何て答えますか? 「自然が豊かで住みやすい」「山や海、都心などへのアクセスがいい」「子育てがしやすい」...。でも、どれだけ良いのか、漠然としていますよね。そこで今回の特集では、客観的に見た厚木のいいところを集めてみました。市民の皆さんが胸を張って自慢できるまちの魅力を紹介いたします。



働くパパママを応援

目指せ子育て環境日本一 / 共働き子育てしやすい街

2017年に日経DUALと日本経済新聞社が実施した調査で、保育施設や放課後児童クラブの充実度、紙おむつの支給といった独自サービスの実施状況などをポイントで評価したもの。本市は前回より五つ順位を上げて**全国6位(東京を除く)、県内では第1位に輝きました。**

県内第1位 全国6位



県内平均の約5倍

安心して遊べる場所が充実 / 児童館の数

市内には37館設置され、2位の大和市は22館。3位の秦野市は18館。県内平均は7.4館。

県内第1位
(政令市を除く)

遊べて相談できる子育て世帯の強い味方 / 子育て支援センターの規模

県内最大級
施設面積 535㎡

各地に設置された子育て支援施設の中でも、本市の子育て支援センター「もみじの手」は県内最大級の規模。年間約10万人の方に利用いただいています。

恵比寿駅と吉祥寺駅とほぼ同じ / 1日平均乗降客数

他の路線に乗り換えがない駅ということは、電車を降りたほとんどの人が厚木市を訪れたということになります。

本厚木駅が第1位
乗降人員1日約15万人

自助・共助で災害に強いまち / 災害対応力

県内第1位 全国289市区第6位

災害対応力調査は、各自治体が災害への備えをどの程度進めているかを調べたもの。トップ10入りは県内でも本市だけ。

順位	区
1位	渋谷区
2位	北九州市
3位	荒川区
4位	港区
5位	板橋区
6位	厚木市

(2011年8月日経グローバル)

本厚木駅南口広場が変わります

工事では、駅前広場を約3400㎡から約4200㎡に拡充。新たに一般車乗降場、歩行者デッキを設置します。歩行者・バス・タクシー・一般車の交通動線を整理し、歩道を拡幅するなど利便性と安全性の向上を目指します。

※工事中は、交通規制などでご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

図 市街地整備課 ☎225-2851

にぎわいのある駅前に 本厚木駅南口で再開発工事開始



柳田理事長（左）や小林市長らがくわを入れた

再開発は2020年11月に完了予定。商業・業務・居住が一体となった再開発ビルの整備と併せて、駅前広場を拡充し、歩行者デッキや一般車乗降場などが設置されます。

2月26日に、本厚木駅南口地区市街地再開発組合が起工式を開催しました。関係者約70人が集まり、魅力ある駅前づくりを目指して工事の円滑な進行と安全を祈念しました。

その後行われたセレモニーでは、柳田光太郎理事長が「周辺の住環境に配慮しつつ、厚木に住む皆さんが誇りに思えるような、にぎわいのあふれる駅前をつくっていきたい」と意気込みを語りました。

疑似体験で理解を深める 障がい者などの避難支援訓練を実施



疑似体験で避難時に必要なサポートなどを確認

3月に鳶尾地区で、障がい者や高齢者など要配慮者への避難支援を想定した訓練が開催されました。市障害者協議会防災プロジェクト委員や、障がい者施設の関係者、地域住民など約300人が参加しました。訓練では、一部の参加者が視覚・聴覚障がい者や高齢者の視界・歩行などを疑似体験しながら、指定避難所に移動。避難者の受け入れや、緊急受け入れ施設への搬送などの手順を確認し、必要な支援や配慮に理解を深めました。訓練の内容や課題は今後、各地区で要配慮者の避難支援に生かします。



熱戦制し頂点に 空手全国大会優勝の小学生が結果報告

小林市長は「これからも、上を目指して競技を続けてほしい」と激励していました。



賞状を手に笑顔を見せる伊藤さん(左)と武藤さん

防具付き空手の全国大会「第12回全国各流派防具付オープン空手道選手権大会」で優勝した依知小の伊藤愛留さんと北小の武藤匠生さんが市役所を訪れ、小林市長に結果を報告しました。2人は昨年11月に開催された同大会で組手個人部門に輝きました。年齢や性別の部で、見事頂点に輝きました。市長との懇談の中で、伊藤さんは「緊張したけれど優勝できて良かった」、武藤さんは「もっとたくさん練習して次も勝ちたい」と思いを伝えました。

観光の拠点になるまちへ 訪日外国人モニターツアーを開催



真っ赤に実った新鮮なイチゴを楽しむ参加者たち

厚木を訪れる外国人にまちを楽しんでもらおうと、3月に観光モニターツアーを開催しました。出張などで県内に滞在中のインド、タイ、ニュージールランド、ベトナム、ミャンマー国籍の8人が参加し、大山参りや、厚木市内でとん漬け料理、イチゴ園でのみぎ取りなどを楽しみました。アンケートには、「地元の名産が食べられて良かった」「もぎ取りは楽しい」「今度は自分で行ってみたい」「モデルコースなどを作ってもらえるとありがたい」などの感想が寄せられました。市では、これらの意見や提案を今後の観光施策に生かしていきます。

アツギ X NEW ZEALAND ホストタウン通信



売店入口に設けられているNZコーナー

市役所売店や食堂で 食の魅力をもPR

1月から、市役所本庁舎地下の売店で、NZの国民のお菓子である「クッキータイム」のクッキーと「ウィッタカズ」のチョコレート販売しています。いずれも、これまで出店してきたNZのPRブースで、皆さんからご好評をいただいたお菓子です。奥の食堂では、不定期にNZの食材を使用したメニューも提供しています。

市では、NZの食の魅力をもPRしようと、ラムチョップやマヌカハニー、ワインなどの代表的なグルメを、「あつぎ鮎まつり」や「あつぎ国際大道芸」といったイベントで「あつぎNZフェア」として皆さんに楽しんでいただいています。SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）などで「企画政策課」の公式アカウントから情報を提供していますので、チェックしてみてください。

2020年東京オリンピック・パラリンピック（東京五輪）に向けて、ホストタウン相手国となったニュージーランドとの交流事業などを紹介します。

ひとまち 元気

市長
小林 孝良



開幕戦で岡崎選手(左)、真田選手と

Jリーグの新シーズンが始まり、本市がホームタウンに名を連ねる湘南ベルマーレがホームで開幕戦を迎えました。2年ぶりにJ1を戦うベルマーレ。開幕戦には私も伺い、他の市長、町長と始球式に臨みました。試合前には、本市出身のDF岡崎亮平選手(25・睦合東中出身)、GK真田幸太選手(18・藤塚中出身)にも会うことができました。選手会長の

仙台上に厚木中出身のFWジャーマイン良選手(22)が新加入。セレッソ大阪には、元日本代表のDF茂庭照幸選手(36・依知中出身)もいます。アジア王者・浦和レッズの前監督(50)も、市内の出身です。地元選手らが、国内最高峰の舞台で活躍することはうれしい限りです。ぜひ皆さんの声援を届け、選手らの活躍を後押ししていただければと思います。

岡崎選手とルーキーの真田選手は、どちらも激しいポジション争いの真っ最中。二人にはチーム内の戦いを勝ち抜き、攻撃的に走り勝つ「湘南スタイル」を後方から支える力になってくれることを期待しています。

今季は、ベガルタ

タウンガイド

4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12
8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19
15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26
22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	31		
29	30												

マイタウンクラブ
 ①印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「①」
 と記されたものは、申し込みも
 できます。
 ②=申し込み ③=問い合わせ
 ④=電話番号 ⑤=ファクス番号
 ⑥=Eメール ⑦=市ホームページ

「夕焼け市」がスタート

毎週水曜、17時～18時(9月以降は16時～17時)。荻野運動公園。市内産の農産物や加工食品などの販売。4月18日にはオープニングフェアを開催。当日買い物をした方に「夕焼け市オリジナルあゆこちゃんエコバック」をプレゼント(先着600人)。②農業政策課☎225-2801。

応急手当普通救命講習会

4月14日、9時～12時。消防本部。応急手当の必要性、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上30人。無料。②4月2日～9日に救急救命課☎223-9365へ。抽選。①④172780

糸魚川大火災害「魔の強風」の恐ろしさ写真展

4月18日～24日、10時～16時40分(18日は14時～17時、24日は14時まで)。あつぎ市民交流プラザ。21日、13時30分からトークショーあり。無料。②当日直接会場へ。③危機管理課☎225-2190。

自分のカラダを読んでみよう!

4月24日=荻野公民館、25日=南毛利公民館、27日=相川公民館、14時～15時30分。4月26日=依知北公民館、10時～11時30分。健診結果の見方とメタボリックシンドロームについての健康講座。骨健康度測定も同時開催。市内在住の方各30人。無料。②4月2日から健康づくり課☎225-2201へ。先着順。

キッズスポーツ教室(市民協働提案事業)

5月～9月の第2・4土曜(全10回)。9時～12時。緑ヶ丘小学校など。小学4～6年生の男女20人。1000円(保険料含む)。②電話またはファクスに〒住所、氏名、年齢、学年、性別、電話番号を書き、NPO法人厚木スポーツクラブ・田上☎090-4914-0438・☎221-1361へ。先着順。

七沢キャンプカウンセラートレーニング

4月22日～(年13回、宿泊含む)。七沢自然ふれあいセンター。野外炊事や宿泊研修、キャンプの企画など。市内在住在学の中学・高校生。無料(研修内容により実費負担あり)。②直接、七沢自然ふれあいセンター☎248-3500へ。

ポートレート写真教室

5月5日、①10時～12時②13時～15時。あつぎつつじの丘公園。初心者向けのモデル撮影会。プロカメラマンによる実技指導あり。各回30人。2000円。②4月5日から七沢観光案内所☎248-1102へ。先着順。③市観光協会☎240-1220。

天体観望会

5月3日、18時～21時。厚木野球場。天体望遠鏡や双眼鏡で星空を観察。希望者は21時以降に月の観察あり。定員30人。無料。②4月5日から七沢観光案内所☎248-1102へ。先着順。③市観光協会☎240-1220。

市立病院の奨学生を募集

《試験日》5月20日《職種》看護師《対象》看護師などの養成学校に在籍する学生。②市立病院や市役所本庁舎、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書(市立病院ホームページからダウンロード可)を、直接または郵送で、5月9日(必着)までに〒243-8588水引1-16-36病院総務課☎221-1570へ。

生涯学習推進会議の委員を募集

《対象》①市内在住に勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年3回程度)に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の職員・議員でない⑤の全てを満たす方2人以内《任期》6月～(3年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)。②文化生涯学習課にある申込書(☎からダウンロード可)を、直接または郵送、ファクス、Eメールで4月27日(必着)



ATSUGI BBQ terrace & Outdoor showcase 2018 in Riverside

相模川の河川敷が一望できる広場で、バーベキューを楽しみませんか。ドッグランやトイドローン操縦体験など、イベント盛りだくさんでお待ちしています。

◇あつぎバーベキューテラス

日時 5月3日～6日
 10時～13時、14時～17時
 会場 厚木青少年広場
 内容 手ぶらバーベキュー、飲食ブース
 ※基本は器材のレンタル。食材・飲料は持ち込み自由。食材は申し込み可。

詳しくは [あつぎ観光ナビ](#) [検索](#)

◇アウトドアショーケース 2018

日時 5月3日～4日 10時～16時
 会場 厚木野球場
 内容 アウトドア用品の展示、ドッグラン、ドローンデモ飛行など

②バーベキューは利用日の3日前までに電話でデジキュー☎0570-09-0014または同社ホームページへ。その他は当日直接会場へ。③河川ふれあい課☎225-2381

までに〒243-8511文化生涯学習課☎225-2512・☎225-3130・☎0350@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考あり。

健康食育推進協議会の委員を募集

《対象》①市内在住に勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年3回程度)に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の議員・職員でない⑤の全てを満たす方3人《任期》6月～(2年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)。②保健福祉センターにある申込書(☎からダウンロード可)を、直接または郵送、ファクス、Eメールで5月11日(必着)までに〒243-0018中町1-4-1健康長寿推進課☎225-2174・☎224-8407・☎2250@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考あり。

子育て支援センターの保育士(臨時職員)を募集

《対象》保育士の資格を持つ方若干名《勤務内容》子育て支援センターの運営など《雇用期間》6月1日～9月30日(延長可)《勤務時間》週5日、8時30分～17時15分(土・日曜勤務あり)《報酬》月額17万7200円。通勤手当は、市の規定額を支給。②市販の履歴書に写真を貼り、直接または郵送で5月2日(必着)までに〒243-8511子育て支援センター☎225-2922へ。

市役所の組織を一部改正します

4月から次のとおり組織を改正し、事務室を移転します。新設した係は☎をご覧ください。
 《廃止》臨時福祉給付金担当(福祉総務課)、厚木保育所(保育

課)《名称変更・事務室移転》まちづくり推進課森の里東・酒井地区整備係、市役所第二庁舎14階(旧森の里東拠点整備係、森の里青山)。③行政総務課☎225-2280。

公共施設の指定管理者が決定

ふれあいプラザ=ふれあいプラザ共同事業体。市営自転車等駐車場(6施設)=市シルバー人材センター。体育施設(東町・猿ヶ島・南毛利スポーツセンター、及川球技場)=市体育協会。文化会館=市文化振興財団。いずれも指定期間は4月1日～(3年間)。③行政経営課☎225-2160。

本入れバッグの配布

小学校に入学した児童に、市立小学校を通じて本入れバッグを配布しています。私立小学校の場合は、中央図書館でお渡しします。③中央図書館☎223-0033。

みんなの声でつくるまち

《パブリックコメント》

■市立郷土博物館整備に伴う条例《閲覧期間》4月1日～5月1日《閲覧場所》文化財保護課、公民館、市政情報コーナー、本厚木・愛甲石田駅連絡所、保健福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、☎《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。〒243-8511文化財保護課☎225-2515。
 《意見交換会》

■中小企業の設備投資に係る固定資産税の特例措置に関する市税条例の一部改正

4月16日、19時～20時。市役所本庁舎。②当日直接会場へ。③資産税課☎225-2032。

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中
 厚木市 インターネットモニター [検索](#)
 ③広報課☎225-2043

3月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆高齢化が進む中、若い人を市外から呼んで市を元気にすることは大切/60代男性◆市債が減少しているのがグラフで見やすく表示されていて良かった/40代女性◆空き家の再利用や売却もなかなか進んでいないようで、身近な問題に感じた/60代男性◆病児保育がスタートしたのが大変良かった。早くからあれば良かったのと思った/70代以上男性◆厚木には誇れるおいしいものがたくさんあることが分かった/30代女性

編集後記

1面で紹介した2人。初めは、時折見せるあどけない笑顔に高校生らしさを感じましたが、いざマウンドに立つと一変。練習試合でありながら気迫を全面に押し出して投げ込む姿に、カメラを持つ手にも力が入りました(写真で伝わらうれしいです)。目標を聞けば、「全国優勝」と即答。出場できたことだけに満足せずしっかりと頂点を見据えていて、2人の夢がさらに大きくなることを確信しました/森本・佐藤

3イベント同時開催

食べて、遊んで、大満足

市内外からグルメやキャラクターが集まり、街がお祭り騒ぎになる2日間がやってきます。思い切り満喫して、おなかも心も満たしませんか。

あつぎスイーツランド

【会場】厚木公園

市内の名店はもちろん、自由が丘の人気店「マジドゥショコラ」や「ヨロイツカファーム」が今年も登場

かながわグルメフェスタ

【会場】厚木中央公園

県内で親しまれるご当地グルメの人気ナンバーワンを投票で決定。栃木県から「佐野らーめん」がゲスト出店

かなキャラ大集合!

【会場】厚木中央公園

県内外から約30のご当地キャラが集まる他、昨年の「ゆるキャラグランプリ」王者「うなりくん」も特別参加

4月21日(土)/22日(日) 10時～16時

あつぎ 元気Wave
ケーブルTV 4/1～
3イベントを紹介

☎商業にぎわい課 ☎225-2840(かながわグルメフェスタ・あつぎスイーツランド)・観光振興課 ☎225-2820(かなキャラ大集合)

厚木の魅力を市民目線で発信

新 市民リポーターが決定

広報番組などでまちの話題や魅力を伝える市民リポーターが新たに決定しました。これまでも活躍してきたメンバーに、新しく17人が加わり、4月から計30人で活動していきます。元気で明るい、市民目線での情報発信にご期待ください。

※写真は、新しく任命されたリポーターです。全メンバーを市ホームページで紹介しています。

詳しくは [厚木市 市民リポーター](#) [検索](#)

☎広報課 ☎225-2040

市広報番組「あつぎ元気wave」でレポート

自然歳時記

● スズメ ●
ハタオリドリ科

全長 14 ㎝ほど。いつも人の住む辺りにいる身近な留鳥。茶色の頭と頬の黒子のような黒い斑が特徴。人家の屋根瓦や壁の隙間などに営巣する。／小鮎、里見台まる山公園で見つけた。 写真・文／吉田文雄



春風が吹き、里山や公園などの桜の花が一気に咲いた。薄ピンク色の花びらが5枚ままとまったままフワフワと舞い落ちていく。上空を見るとスズメ達が楽しそうに花びらを口にくわえては落としていた。今年例年になく寒い冬だったが、その分美しく清楚な花が咲き、人々は桜まつりでにぎわっていた。

桜の花が満開を迎えた時、各地で珍しい現象が報道された。メジロやヒヨドリのように細い口ばしで蜜を吸うことができないスズメが、桜の花を支えている筒の部分にある甘い蜜を見つけ、食べていることであった。最近梅の花でも同じ行動が見られている。学習能力の高い、賢い鳥だと感心した。

厚木市の人口
(3月1日現在)

 世帯数 9万8287世帯 (前月比86世帯減)

 人口 22万5489人 (前月比264人減) 男11万6522人・女10万8967人